



ビコール大学



英語

Bicol University

<http://bicol-u.edu.ph/>

学生交流締結年月日： 2006年3月31日

学術交流締結年月日： 2006年3月31日

協定上の派遣可能人数： 3名以内

Academic Calender		協定校申請締切※	必要な成績・語学能力スコア
First Semester	6月～10月	-	
Second Semester	11月～3月	-	

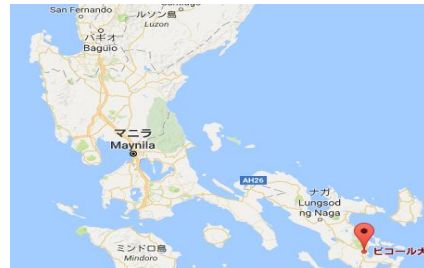
※学内申請締切は協定校締切より早く設定しています。派遣希望者は必ず学内締切を確認してください。

概要

ビコール大学は1969年6月21日に制定された共和国法5521を通し、領域Vで最初の州立大学を作るために、統合された6つの名声の高い教育機関から発展した。

大学は現在、7つのキャンパスで13の学部を運営している。2004年には、総合開発計画といったコースの完全な実用や、科学部、芸術学部、社会哲学部、そしてびじねす、経済、経営学部などの職業的な学部のための一般的な教育コースの出現があった。ほぼ40年のスパンでは、ビコール大学は現在の姿 - 総合的およびマルチキャンパス大学 - にまで徐々に変化してきた。2009年、州立大学であるビコール大学は、40周年を迎えた。

所在地： アルバイ州レガスピ市、フィリピン共和国



おすすめコメント

(担当教員より)

ルソン島南部最大の大学で7つのキャンパスを持つ。高知大学とは平成19年から学術交流協定を締結しており、水産学部、看護学部のあるタバコ市のキャンパスに国際共同オフィスを設置している。第3回、第6回黒潮圏科学国際シンポジウムを開催しており、共同研究、学生交流ともに最も交流の活発な黒潮圏の基幹大学の一つである。特に黒潮圏総合科学専攻・黒潮圏科学部門とビコール大学水産学部とは海洋保護区の社会経済・生態環境の研究、災害からの復興の社会経済学的調査などの共同研究を実施している。また、本学の山岡教授がシーカヤックでタバコ市からルソン島東海岸に向けて北上し、漁村の生活調査を実施した他、藻類の研究、稚魚の研究等を共同で行っている。メインキャンパスはレガスピ市にあり、理学、看護学、文学、芸術学、医学部、教育学のカレッジがある。ダラガキャンパスは商学・経営学部カレッジ、社会科学・哲学カレッジ、東キャンパスは工学系のカレッジ、ギノバタンキャンパスは農学・森林学カレッジを有する。昨年本学で開催した第8回黒潮圏科学国際シンポジウムではFay Lea Patria M. Laurayaビコール大学学長が国境を越えた教育ネットワーク形成について高知大学・中山大との交流の実績をあげてその必要性を示された。また昨年、医学部を新設されたので、本学医学部を訪問された。タバコキャンパスからはキャンパス長と2名の研究者が発表した。現在、黒潮圏総合科学専攻ではフィリピン大学の留学生在が藻類学の研究をしている。